

文化財NEWS

福島県教育庁南会津教育事務所 総務社会教育課

Ⅰ 久川城跡 県指定史跡

【久川城全景】

久川城は伊南川西岸の南北に延びる丘陵上に営まれた山城で、麓からの比高差は70m、東西110m、南北430mの規模があります。

九十九折りの山道を登ってようやく城内の平地に入ることができます。中心には土塁と空堀に囲まれた主郭(本丸)があり、その南西には櫓台があったと思われます。



【中腹から伊南川を眺める】



【登城坂は九十九折り(つづらおり)になっており容易には登れません】



【行く手を阻む土塁】

《久川城の歴史と沿革》

久川城のある会津郡伊南郷は奥州合戦(1189)の戦功によって河原田盛光に与えられ、以来河原田氏が治めてきました。

その後、伊達政宗が会津(黒川城)を治めた際、河原田氏は政宗に従わず、攻められることになりました。当時の当主盛次は戦闘に備えて久川城を築き、立て籠もって伊達勢を迎え討ちます。伊達勢は何度も城を攻撃しましたが、結局攻略できず撤退したそうです。

その後、豊臣秀吉の時代に奥州仕置によって領地は没収され、蒲生氏、上杉氏、再び蒲生氏が入部し、現在残されている縄張りの城に改築され、江戸時代(1611)廃城となりました。



【主郭(本丸)に到着】



【本丸を守る空堀】

2 古町の大イチョウ 県指定天然記念物

《伊南の誇り 福島県屈指の老イチョウ》

旧伊南小学校校庭南にそびえ立つ大イチョウは、

樹高:35m 胸高幹周り:11m 根周り:16m

もあり、県下随一の老樹です。

建久年間(1190年代)会津四家の一人、久川城主 河原田盛光が、重臣を住まわせた折りに植えた庭木と言いつたされています。古くは「乳の神」として住民の信仰も厚く、地元はもちろん、遠く上州や越後からの参詣者が後を絶たなかったそうです。

現在も住民の憩いの場として、また郷土の至宝として大切に守られ、

「福島県緑の文化財登録第18号」「ふくしま緑の百景」

「福島県指定記念物(天然記念物)S28.10.1」

に指定されています。



【懐かしい旧伊南小学校校舎】



【晩夏の大イチョウ】

《雪見イチョウ》

このイチョウが、晩秋に一気に落葉するときは、根雪が早くおとすれ、ちらほらと散るときは、遅くなると言われています。

そのため「雪見イチョウ」の異名があるそうです。

さて、今年は……。



【腐食を防いでいます】



【状態を確認する佐藤指導委員】

かつては校庭の大部分を日陰にしまうほどの枝振りでしたが、落雷で頂部を失い、弱った枝が剪定されて縮小されました。それでも十分過ぎる大きさです。

樹木医さんの診察もあり、樹勢はたいへんよいようです。



【樹齢800年余 根周り16mは圧巻です!】



【新たな命も成長中】